

## 実施項目見直し（案）

平成28年度を初年度とする「酒田市行財政改革推進計画基本計画（大綱）」を踏まえ、行財政改革を計画的に推進するため、その実現のための手段として、具体的な実施項目を掲げた実施計画（アクションプラン）を策定しました。

実施計画は社会情勢の変化等に的確に対応するとともに、達成及び進捗状況を踏まえ毎年度見直しを行うこととしています。

実施計画では79の具体的実施項目を設定しています。

### （1）実施スケジュールについての状況

実施に向けた検討等により、18の実施項目のスケジュールを見直ししています。

### （2）数値目標の状況

79の実施項目（再掲項目13を含む）のうち26項目に数値目標を掲げてきました。

初年度である平成28年度における取組みの実施により、新たに11項目に数値目標を設定、6項目について数値目標を見直し（追加）しています。

当初	新規設定	見直し
26（22）	11（7）	6（4）

※（ ）内再掲を除く実数

### （3）効果額の状況

効果額を設定している項目については、当初設定の3項目から変化はありませんが、平成28年度においては、未利用資産の売却額（目標額12,000千円／年、に対し売却額38,000千円）やふるさと納税寄付額（目標額242,000千円／年、に対し寄付額790,000千円）の大幅な増額が見込まれており、「応援したくなるふるさと納税制度の再構築」については効果額の見直しを行っています。

※ 効果額については、平成29年1月現在

効果額を設定している項目

番号	実施項目
61	収納率向上手法の検討と実施
63	応援したくなるふるさと納税制度の再構築
74	未利用保有資産の売却の推進

### （4）見直しする項目

番号	実施項目	スケジュール	数値目標		効果額
			新規	変更	
3	定員管理計画の着実な推進	○			
5	市民意識調査の実施			○	
10	ワンストップサービスの実施	○			
12	個人番号カードの多様な利活用	○			
15	ホームページリニューアルの実施			○	
18	職員研修の充実	○			
26	職員研修の充実 [再掲NO.18]	○			
27	地域コーディネーターの養成		○		
29	市民参加型計画策定の推進		○		
34	介護予防・日常生活支援総合事業の推進		○		
35	情報伝達手段の充実(より確実な情報の伝達)		○		
36	ホームページリニューアルの実施 [再掲NO.15]			○	
38	若者や女性、子育て世代などによる政策提案の場の設置		○		
39	情報伝達手段の充実(より確実な情報の伝達) [再掲NO.35]		○		
40	市民意識調査の実施 [再掲NO.5]			○	
42	市民参加型計画策定の推進 [再掲NO.29]		○		
43	学校給食調理業務委託の方向性の検証	○			
44	市立保育園の統合と民間移管方針の策定	○			
46	さかた版マイレージ事業の実施	○	○		
49	体育施設への指定管理者制度の導入	○			
54	市民大学講座の充実	○			
59	家庭ごみ有料化の推進	○			
63	応援したくなるふるさと納税制度の再構築				○
65	地産地(他)消の推進	○		○	
66	施策の経済波及効果測定の仕組みづくり	○			
67	さかた版マイレージ事業の実施 [再掲NO.46]	○	○		
69	行政評価手法の見直し	○			
73	公園施設の長寿命化及びバリアフリー化の促進	○	○		
74	未利用保有資産の売却の推進	○		○	
79	公園施設の長寿命化及びバリアフリー化の促進 [再掲NO.73]	○	○		

※数値目標を追加した実施項目は「数値目標 見直し」に含む。

酒田市行財政改革推進計画実施計画見直し項目新旧対照表

見直し前（当初計画）		見直し後（実施計画 平成29年度改訂に反映）					備考
番号	3	取組項目①	効率的・効果的な組織・機構・人員の見直し				○実施スケジュールの変更
現状・課題	定員適正化計画が達成されたことを踏まえ、定員管理計画の策定による着実な推進が求められている。						
実施項目	定員管理計画の着実な推進			担当課	総務課		
内容	社会情勢の変化に対応し、市政や市民サービスの低下を招かないように、再任用職員、任期付職員、非常勤職員などの多様な任用形態の活用も含めて、効率的な人員配置を行う。						
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
業務量調査（業務の棚卸）		実施	反映				
計画に基づく定員管理		継続して実施					
多様な任用形態の活用		継続して実施					
目標	業務量調査で実態把握を行う			数値目標			
						(平成28年度に設定)	
番号	5	取組項目②	選択と集中による事業の見直し				○数値目標の追加
現状・課題	個別の課題について随時調査等は行われているが、市の施策全般について重要度などの市民意識の把握が必要になっている。						
実施項目	市民意識調査の実施			担当課	政策推進課		
内容	本市の取組みに対する満足度や、これからの取組みに対する重要度などについて調査を行う。また、調査の分析結果を全庁的に周知、活用することにより、職員の意識啓発を行い、市民サービス向上を意識した効率的な予算編成、予算執行を行う。						
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
市民意識調査の実施		継続して実施					
職員への意識啓発		継続して実施					
目標	意識調査で「住みよい」と回答した者の割合の向上 ■平成27年度 72.6%			数値目標			
						100%（平成31年度）	
番号	3	取組項目①	効率的・効果的な組織・機構・人員の見直し				
現状・課題	定員適正化計画が達成されたことを踏まえ、定員管理計画の策定による着実な推進が求められている。						
実施項目	定員管理計画の着実な推進			担当課	総務課		
内容	社会情勢の変化に対応し、市政や市民サービスの低下を招かないように、再任用職員、任期付職員、非常勤職員などの多様な任用形態の活用も含めて、効率的な人員配置を行う。						
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
業務量調査（業務の棚卸）		検討・試行	実施	反映			
計画に基づく定員管理		継続して実施					
多様な任用形態の活用		継続して実施					
目標	業務量調査で実態把握を行う			数値目標			
						(平成28年度に設定)	
番号	5	取組項目②	選択と集中による事業の見直し				○数値目標の追加
現状・課題	個別の課題について随時調査等は行われているが、市の施策全般について重要度などの市民意識の把握が必要になっている。						
実施項目	市民意識調査の実施			担当課	政策推進課		
内容	本市の取組みに対する満足度や、これからの取組みに対する重要度などについて調査を行う。また、調査の分析結果を全庁的に周知、活用することにより、職員の意識啓発を行い、市民サービス向上を意識した効率的な予算編成、予算執行を行う。						
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
市民意識調査の実施		継続して実施					
職員への意識啓発		継続して実施					
数値目標	項目名	単位	実績(H28)		目標(H32)		
	住みよいと回答した割合	%	—		100		
	項目名	単位	実績(H28)		目標(H32)		
	アンケートの回収率	%	—		60		
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
市民意識調査の実施		継続して実施					
職員への意識啓発		継続して実施					

見直し前（当初計画）					見直し後（実施計画 平成29年度改訂に反映）					備考
番号	10	取組項目①	事務の効率化の推進		番号	10	取組項目①	事務の効率化の推進		○実施スケジュールの変更
現状・課題	市民サービスが複雑化・細分化する中で、手続きの簡素化や関連情報の提供といった、より利用者の立場に立ったサービス提供が求められている。				現状・課題	市民サービスが複雑化・細分化する中で、手続きの簡素化や関連情報の提供といった、より利用者の立場に立ったサービス提供が求められている。				
実施項目	ワンストップサービスの実施		担当課	総務課各課	実施項目	ワンストップサービスの実施		担当課	総務課各課	
内容	市民サービスを提供する上で、事務手続きのワンストップ化だけでなく、他に関連する情報提供のワンストップ化も求められていることから、庁内における横のつながりを意識するとともに、業務連携の範囲や手法を明らかにし、互いに連携した業務を一層推進することにより、市民サービスの向上を図る。				内容	市民サービスを提供する上で、事務手続きのワンストップ化だけでなく、他に関連する情報提供のワンストップ化も求められていることから、庁内における横のつながりを意識するとともに、業務連携の範囲や手法を明らかにし、互いに連携した業務を一層推進することにより、市民サービスの向上を図る。				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	○実施スケジュールの変更
ワンストップサービスの実施					検討	見直し				
目標	窓口利用者アンケートによる満足度の向上		数値目標		（平成28年度に設定）					○実施スケジュールの変更
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
ワンストップサービスの実施					検討	見直し				
番号	12	取組項目②	新たな制度等への対応		番号	12	取組項目②	新たな制度等への対応		○実施スケジュールの変更
現状・課題	全国的に導入されたマイナンバー制度の個人番号カードを有効に活用した行政サービスを提供し、市民の利便性を高めていく必要がある。				現状・課題	全国的に導入されたマイナンバー制度の個人番号カードを有効に活用した行政サービスを提供し、市民の利便性を高めていく必要がある。				
実施項目	個人番号カードの多様な利活用		担当課	政策推進課各課	実施項目	個人番号カードの多様な利活用		担当課	政策推進課各課	
内容	個人番号カードを活用した市独自の利用手法を検討し、行政サービスの充実を図る。				内容	個人番号カードを活用した市独自の利用手法を検討し、行政サービスの充実を図る。				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	○数値目標の見直し
住民票等のコンビニ交付					継続して実施					
多様な利活用					手法検討	条件が整ったものから実施				
番号	15	取組項目③	情報通信技術（ICT）利活用の推進		番号	15	取組項目③	情報通信技術（ICT）利活用の推進		○数値目標の見直し
現状・課題	情報入手の手段として定着しているホームページについて、広範に普及しているスマートホンへの対応が必要になっている。				現状・課題	情報入手の手段として定着しているホームページについて、広範に普及しているスマートホンへの対応が必要になっている。				
実施項目	ホームページリニューアルの実施		担当課	政策推進課	実施項目	ホームページリニューアルの実施		担当課	市長公室	
内容	情報の検索性を高めるようホームページの見直しを行うとともに、スマートホンでも閲覧できるよう改修を行い、市民の利便性の向上を図る。				内容	情報の検索性を高めるようホームページの見直しを行うとともに、スマートホンでも閲覧できるよう改修を行い、市民の利便性の向上を図る。				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	○数値目標の見直し
ホームページリニューアル					実施	継続して見直し				
スマートホン対応					実施					
目標	閲覧件数の増加		数値目標		約800万件（平成32年度）					
目標					■平成27年度 約700万件					

見直し前（当初計画）					見直し後（実施計画 平成29年度改訂に反映）					備考									
番号	18	取組項目①	職員の意識改革と資質の向上		番号	18	取組項目①	職員の意識改革と資質の向上		○実施スケジュールの変更									
現状・課題	多様なメニューにより研修を実施しているが、より職員の関心や適正に応じた主体的に選択できる研修が必要になってきている。				現状・課題	多様なメニューにより研修を実施しているが、より職員の関心や適正に応じた主体的に選択できる研修が必要になってきている。													
実施項目	職員研修の充実		担当課	総務課	実施項目	職員研修の充実		担当課	総務課										
内容	課題解決と課題をサービスにつなげる意識の醸成を図るため、選択制研修の導入など、多様な研修メニューにより、職員の意識改革と資質の向上を図る。				内容	課題解決と課題をサービスにつなげる意識の醸成を図るため、選択制研修の導入など、多様な研修メニューにより、職員の意識改革と資質の向上を図る。													
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度					
選択制研修の実施					実施					検討					実施				
多様な職員研修の実施					継続して実施														
番号	26	取組項目②	行政課題に的確に対応できる人材の育成		番号	26	取組項目②	行政課題に的確に対応できる人材の育成		○実施スケジュールの変更									
現状・課題	多様なメニューにより研修を実施しているが、より職員の関心や適正に応じた主体的に選択できる研修が必要になってきている。				現状・課題	多様なメニューにより研修を実施しているが、より職員の関心や適正に応じた主体的に選択できる研修が必要になってきている。													
実施項目	職員研修の充実[再掲]		担当課	総務課	実施項目	職員研修の充実[再掲NO.18]		担当課	総務課										
内容	課題解決と課題をサービスにつなげる意識の醸成を図るため、選択制研修の導入など、多様な研修メニューにより、職員の意識改革と資質の向上を図る。				内容	課題解決と課題をサービスにつなげる意識の醸成を図るため、選択制研修の導入など、多様な研修メニューにより、職員の意識改革と資質の向上を図る。													
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度					
選択制研修の実施					実施					検討					実施				
多様な職員研修の実施					継続して実施														
番号	27	取組項目①	主体的な市民活動との協働・連携の強化		番号	27	取組項目①	主体的な市民活動との協働・連携の強化		○数値目標の設定									
現状・課題	少子高齢社会の影響により、地域においても役員や地域活動のリーダー等の高齢化、後継者不足が深刻な状況となっている。				現状・課題	少子高齢社会の影響により、地域においても役員や地域活動のリーダー等の高齢化、後継者不足が深刻な状況となっている。													
実施項目	地域コーディネーターの養成		担当課	政策推進課 社会教育文化課	実施項目	地域コーディネーターの養成		担当課	政策推進課 社会教育文化課										
内容	地域力や地域における自発性を高め、市民との協働や連携を円滑に進めるため、コミュニティ活動の市内先進事例の周知や、コミュニティ振興会職員、市民等を対象としたワークショップ、研修会・講演会を開催することにより、地域コーディネーターを養成する。また、東北公益文科大学が地(知)の拠点整備事業で取り組んでいる人材育成プログラムを、大学の地域リーダー育成部会と連携を図りながら検討・開発し、主体的に行動できる地域リーダーの育成を図る。				内容	地域力や地域における自発性を高め、市民との協働や連携を円滑に進めるため、コミュニティ活動の市内先進事例の周知や、コミュニティ振興会職員、市民等を対象としたワークショップ、研修会・講演会を開催することにより、地域コーディネーターを養成する。また、東北公益文科大学が地(知)の拠点整備事業で取り組んでいる人材育成プログラムを、大学の地域リーダー育成部会と連携を図りながら検討・開発し、主体的に行動できる地域リーダーの育成を図る。													
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度					
地域コーディネーター養成研修会等の実施					継続して実施														
人材育成プログラムの実施					検討・開発					実施									
					項目名					単位	実績(H28)		目標(H32)						
					講座修了生の数					人/年	33		100						
					項目名					単位	実績(H28)		目標(H32)						
					地域活動等においてコーディネートを実践した修了生の数					人/年	6		15						
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度					
地域コーディネーター養成研修会等の実施					継続して実施														
人材育成プログラムの実施					検討・開発					実施									

見直し前（当初計画）					見直し後（実施計画 平成29年度改訂に反映）					備考	
番号	29	取組項目①	主体的な市民活動との協働・連携の強化		番号	29	取組項目①	主体的な市民活動との協働・連携の強化		○数値目標の設定	
現状・課題	様々な立場の市民の意見を政策に反映することが求められている。				現状・課題	様々な立場の市民の意見を政策に反映することが求められている。					
実施項目	市民参加型計画策定の推進		担当課	政策推進課	実施項目	市民参加型計画策定の推進		担当課	政策推進課		
内容	本市の諸課題やまちづくりなどへの計画策定に市民各層などが参画し、市民参加型で作り上げていく仕組みづくりを行う。あわせて、広く市民に対してもアンケート調査を行い施策執行の評価や政策立案に活用する。				内容	本市の諸課題やまちづくりなどへの計画策定に市民各層などが参画し、市民参加型で作り上げていく仕組みづくりを行う。あわせて、広く市民に対してもアンケート調査を行い施策執行の評価や政策立案に活用する。					
実施スケジュール					実施スケジュール						
総合計画策定における市民参画					総合計画策定における市民参画						
市民アンケートの実施					市民アンケートの実施						
各種計画(事業)における市民参画					各種計画(事業)における市民参画						
番号	34	取組項目②	住民主導のまちづくり活動の推進・支援		番号	34	取組項目②	住民主導のまちづくり活動の推進・支援			○数値目標の設定
現状・課題	高齢者が住み慣れた地域で生活を継続するためには、生活支援・介護予防について、住民が主体的に参加し、自らが担い手となっていくような地域づくりが必要である。				現状・課題	高齢者が住み慣れた地域で生活を継続するためには、生活支援・介護予防について、住民が主体的に参加し、自らが担い手となっていくような地域づくりが必要である。					
実施項目	介護予防・日常生活支援総合事業の推進		担当課	介護保険課	実施項目	介護予防・日常生活支援総合事業の推進		担当課	介護保険課		
内容	介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)は、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することにより、地域の支え合いの体制づくりを推進し、効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指すものである。総合事業の推進に向けては、地域の実情に応じて、軽度な日常生活支援や交流を通じた介護予防、高齢者の居場所づくりなどを行うための体制づくりを進めていく。				内容	介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)は、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することにより、地域の支え合いの体制づくりを推進し、効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指すものである。総合事業の推進に向けては、地域の実情に応じて、軽度な日常生活支援や交流を通じた介護予防、高齢者の居場所づくりなどを行うための体制づくりを進めていく。					
実施スケジュール					実施スケジュール						
事業の実施(体制づくり)					事業の実施(体制づくり)						
数値目標					数値目標						
項目名					項目名						
単位					単位						
実績(H28)					実績(H28)						
目標(H32)					目標(H32)						
実施スケジュール					実施スケジュール						
事業の実施(体制づくり)					事業の実施(体制づくり)						

見直し前（当初計画）						見直し後（実施計画 平成29年度改訂に反映）						備考					
番号	35	取組項目③	わかりやすい情報の提供と透明性の向上			番号	35	取組項目③	わかりやすい情報の提供と透明性の向上			○数値目標の設定					
現状・課題	情報を得る環境は年代などにより様々であり多様化が進んでいるため、多くの人に確実に情報を届けることが求められている。					現状・課題	情報を得る環境は年代などにより様々であり多様化が進んでいるため、多くの人に確実に情報を届けることが求められている。										
実施項目	情報伝達手段の充実(より確実な情報の伝達)			担当課	市長公室各課	実施項目	情報伝達手段の充実(より確実な情報の伝達)			担当課	市長公室各課						
内容	多様な情報提供ツールの活用などにより、より分かりやすく、見やすい情報を提供するとともに、より確実に情報を伝えるための効果的な周知手法について検討する。					内容	多様な情報提供ツールの活用などにより、より分かりやすく、見やすい情報を提供するとともに、より確実に情報を伝えるための効果的な周知手法について検討する。										
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成31年度	平成32年度			
新たな手法での情報提供		検討、随時実施					新たな手法での情報提供		検討、随時実施								
数値目標	項目名		単位	実績(H28)		目標(H32)		数値目標		項目名			単位	実績(H28)		目標(H32)	
	市広報に対する市民からの意見・提案件数		件/年	25		36				市広報に対する市民からの意見・提案件数			件/年	25		36	
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成31年度	平成32年度			
新たな手法での情報提供		検討、随時実施					新たな手法での情報提供		検討、随時実施								
番号	36	取組項目③	わかりやすい情報の提供と透明性の向上			番号	36	取組項目③	わかりやすい情報の提供と透明性の向上			○数値目標の見直し					
現状・課題	情報入手の手段として定着しているホームページについて、広範に普及しているスマートホンへの対応などが必要になっている。					現状・課題	情報入手の手段として定着しているホームページについて、広範に普及しているスマートホンへの対応などが必要になっている。										
実施項目	ホームページリニューアルの実施 [再掲]			担当課	市長公室	実施項目	ホームページリニューアルの実施[再掲NO.15]			担当課	市長公室						
内容	情報の検索性を高めるようホームページの見直しを行うとともに、スマートホンでも閲覧できるよう改修を行い、市民の利便性の向上を図る。					内容	情報の検索性を高めるようホームページの見直しを行うとともに、スマートホンでも閲覧できるよう改修を行い、市民の利便性の向上を図る。										
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成31年度	平成32年度			
ホームページリニューアル		継続して見直し					ホームページリニューアル		継続して見直し								
スマートホン対応		実施					スマートホン対応		実施								
目標	閲覧件数の増加 ■平成27年度 約700万件			数値目標 約800万件 (平成32年度)		目標	閲覧件数の増加 ■平成27年度 約700万件			数値目標 約800万件 (平成32年度)							
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成31年度	平成32年度			
ホームページリニューアル		継続して見直し					ホームページリニューアル		継続して見直し								
スマートホン対応		実施					スマートホン対応		実施								
番号	38	取組項目④	広聴活動の推進			番号	38	取組項目④	広聴活動の推進			○数値目標の設定					
現状・課題	様々な立場の市民の意見を政策に反映することが求められている。					現状・課題	様々な立場の市民の意見を政策に反映することが求められている。										
実施項目	若者や女性、子育て世代などによる政策提案の場の設置			担当課	市長公室	実施項目	若者や女性、子育て世代などによる政策提案の場の設置			担当課	市長公室						
内容	本市の諸課題やまちづくりなどに対し、市民各層などと話し合う場を設け、市民の意向などを反映した政策立案を行う。あわせて、広く市民に対してもアンケート調査を行い施策執行の評価や政策立案に活用する。					内容	本市の諸課題やまちづくりなどに対し、市民各層などと話し合う場を設け、市民の意向などを反映した政策立案を行う。あわせて、広く市民に対してもアンケート調査を行い施策執行の評価や政策立案に活用する。										
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成31年度	平成32年度			
政策提案の場の設置		継続して実施					政策提案の場の設置		継続して実施								
提案された政策への反映		継続して実施					提案された政策への反映		継続して実施								
数値目標	項目名		単位	実績(H28)		目標(H32)		数値目標		項目名			単位	実績(H28)		目標(H32)	
	若者や女性、子育て世代との各グループミーティング開催回数		件/年	10		15				若者や女性、子育て世代との各グループミーティング開催回数			件/年	10		15	
	提案の事業化		件/年	0		1				提案の事業化			件/年	0		1	
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
政策提案の場の設置		継続して実施					政策提案の場の設置		継続して実施								
提案された政策への反映		継続して実施					提案された政策への反映		継続して実施								



見直し前（当初計画）					見直し後（実施計画 平成29年度改訂に反映）					備考				
番号	42	取組項目④	広聴活動の推進		番号	42	取組項目④	広聴活動の推進		○数値目標の設定				
現状・課題	様々な立場の市民の意見を政策に反映することが求められている。				現状・課題	様々な立場の市民の意見を政策に反映することが求められている。								
実施項目	市民参加型計画策定の推進[再掲]		担当課	政策推進課	実施項目	市民参加型計画策定の推進[再掲NO.29]		担当課	政策推進課					
内容	本市の諸課題やまちづくりなどへの計画策定に市民各層などが参画し、市民参加型で作り上げていく仕組みづくりを行う。あわせて、広く市民に対してもアンケート調査を行い施策執行の評価や政策立案に活用する。				内容	本市の諸課題やまちづくりなどへの計画策定に市民各層などが参画し、市民参加型で作り上げていく仕組みづくりを行う。あわせて、広く市民に対してもアンケート調査を行い施策執行の評価や政策立案に活用する。								
実施スケジュール					実施スケジュール									
総合計画策定における市民参画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	総合計画策定における市民参画	平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成31年度	平成32年度		
市民アンケートの実施	実施				市民アンケートの実施	実施								
各種計画(事業)における市民参画	実施				各種計画(事業)における市民参画	実施								
数値目標					数値目標									
					項目名						単位	実績(H28)	目標(H32)	
					「市政への参画意識」や「市政への関心度」が高まった割合					%	—	80		
実施スケジュール					実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
総合計画策定における市民参画					総合計画策定における市民参画					実施				
市民アンケートの実施					市民アンケートの実施					実施				
各種計画(事業)における市民参画					各種計画(事業)における市民参画					実施				
番号	43	取組項目①	民間活力等によるサービスの向上・効率化		番号	43	取組項目①	民間活力等によるサービスの向上・効率化		○実施スケジュールの変更				
現状・課題	調理業務委託をすすめる場合、職員の退職、学校統合、保育園の統合、保育園の法人移管等の状況に合わせて行う必要がある。				現状・課題	調理業務委託をすすめる場合、職員の退職、学校統合、保育園の統合、保育園の法人移管等の状況に合わせて行う必要がある。								
実施項目	学校給食調理業務委託の方向性の検証		担当課	教委企画管理課	実施項目	学校給食調理業務委託の方向性の検証		担当課	教委企画管理課					
内容	退職や学校統合による職員状況を検証し、業務委託の方向性を定める。				内容	退職や学校統合による職員状況を検証し、業務委託の方向性を定める。								
実施スケジュール					実施スケジュール									
課題等について分析、検討	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	課題等について分析、検討	平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成31年度	平成32年度		
業務委託の方向性の決定	実施				業務委託の方向性の決定	実施								



見直し前（当初計画）					見直し後（実施計画 平成29年度改訂に反映）					備考
番号	49	取組項目②	民間活力等による公共施設の効率的な管理		番号	49	取組項目②	民間活力等による公共施設の効率的な管理		○実施スケジュールの変更
現状・課題	施設の選定においては、市民サービスの一層の向上のため、各種スポーツ教室等の実施が可能な施設を選定していく必要がある。				現状・課題	施設の選定においては、市民サービスの一層の向上のため、各種スポーツ教室等の実施が可能な施設を選定していく必要がある。				
実施項目	体育施設への指定管理者制度の導入		担当課	スポーツ振興課	実施項目	体育施設への指定管理者制度の導入		担当課	スポーツ振興課	
内容	体育施設について、民間の活力を活用し、市民サービスの一層の向上と行政の効率化を図るため、指定管理者制度の活用を図る。				内容	体育施設について、民間の活力を活用し、市民サービスの一層の向上と行政の効率化を図るため、指定管理者制度の活用を図る。				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
導入施設の検討、指定管理者の募集・選定					実施					
指定管理の実施(平成33年度末まで)							実施			
番号	54	取組項目③	東北公益文科大学等と連携したまちづくりの推進		番号	54	取組項目③	東北公益文科大学等と連携したまちづくりの推進		○実施スケジュールの変更
現状・課題	市民の地域づくりへの関心の高まりなどにより、各地域が主導する活動が増加していることに伴い、地域の指導者の育成が求められている。				現状・課題	市民の地域づくりへの関心の高まりなどにより、各地域が主導する活動が増加していることに伴い、地域の指導者の育成が求められている。				
実施項目	市民大学講座の充実		担当課	社会教育文化課	実施項目	市民大学講座の充実		担当課	社会教育文化課	
内容	東北公益文科大学及び他の高等教育機関とも連携を図り、地域づくりを担う人材の育成につながるような講座を開催する。				内容	東北公益文科大学及び他の高等教育機関とも連携を図り、地域づくりを担う人材の育成につながるような講座を開催する。				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
市民大学講座の充実						継続して実施				
番号	59	取組項目②	受益者負担のあり方の見直し		番号	59	取組項目②	受益者負担のあり方の見直し		○実施スケジュールの変更
現状・課題	本市の1人1日あたりの家庭系ごみ排出量は県内13市で最も多いことから、ごみ減量のための各種施策を実施するとともに有料化の実施によりさらに減量化を進める必要がある。				現状・課題	本市の1人1日あたりの家庭系ごみ排出量は県内13市で最も多いことから、ごみ減量のための各種施策を実施するとともに有料化の実施によりさらに減量化を進める必要がある。				
実施項目	家庭ごみ有料化の推進		担当課	環境衛生課	実施項目	家庭ごみ有料化の推進		担当課	環境衛生課	
内容	ごみの減量・資源化の促進、ごみ処理負担の適正化と公平性の確保、ごみ処理施設・最終処分場の埋立量の減量、住民の受益者負担に係る意識改革と環境保全への市民参画等を実施内容に掲げ有料化について推進する。				内容	ごみの減量・資源化の促進、ごみ処理負担の適正化と公平性の確保、ごみ処理施設・最終処分場の埋立量の減量、住民の受益者負担に係る意識改革と環境保全への市民参画等を実施内容に掲げ有料化について推進する。				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
有料化の仕組みづくり、議決、住民説明と実施時期の検討						実施				
有料化の実施								実施		
目 標	H25:723g/市民1人1日あたり⇒H36:623g/市民1人1日あたり(酒田市ごみ処理基本計画(H27.3改訂))		数値目標		項目名		単位	実績(H28)	目標(H32)	
	平成31年度目標:668g、平成32年度目標:659g		659g(平成32年度)		市民一人当たり一日ごみ排出量		g	—	659	
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
有料化の仕組みづくり、議決、住民説明と実施時期の検討						実施				
有料化の実施									実施	

見直し前（当初計画）					見直し後（実施計画 平成29年度改訂に反映）					備考
番号	63	取組項目②	新たな自主財源確保策の検討		番号	63	取組項目②	新たな自主財源確保策の検討		○効果額の見直し
現状・課題	返礼品の充実などによりふるさと納税が増加しているが、自治体間の競争も激しくなっている。				現状・課題	返礼品の充実などによりふるさと納税が増加しているが、自治体間の競争も激しくなっている。				
実施項目	応援したくなるふるさと納税制度の再構築		担当課	総務課	実施項目	応援したくなるふるさと納税制度の再構築		担当課	市長公室	
内容	福祉作業所の製作品に特化した「障がい者支援」など、目的を明確化した、より応援したくなる魅力的なコースを提案し、ふるさと納税制度による一層の財源確保を図る。				内容	福祉作業所の製作品に特化した「障がい者支援」など、目的を明確化した、より応援したくなる魅力的なコースを提案し、ふるさと納税制度による一層の財源確保を図る。				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
ふるさと納税の充実					継続して実施					
効果的なPR					継続して実施					
目標	ふるさと納税額の増加 ■平成27年度歳入見込額 220,000千円の1割増、年額242,000千円の歳入を目標とする。			効果額	1,210,000千円					
番号	65	取組項目③	経済的な波及効果を意識した事業手法の選択		番号	65	取組項目③	経済的な波及効果を意識した事業手法の選択		○数値目標の見直し ○実施スケジュールの変更
現状・課題	グリーン・ツーリズム推進協議会による農業体験やイベントへの参加者の多くが市内又は近郊市町村在住者であり、情報発信・受入体制のあり方を検討する必要がある。				現状・課題	グリーン・ツーリズム推進協議会による農業体験やイベントへの参加者の多くが市内又は近郊市町村在住者であり、情報発信・受入体制のあり方を検討する必要がある。				
実施項目	地産地(他)消の推進		担当課	農政課	実施項目	地産地(他)消の推進		担当課	農政課	
内容	酒田市食育・地産地消推進計画(～H28年度)に基づき、首都圏の消費者と生産者の交流を促進するとともに、グリーンツーリズムでの県外からの受け入れを推進するなど、生産者と消費者の共感関係の醸成による地産地(他)消の推進を図る。				内容	酒田市食育・地産地消推進計画(～H28年度)に基づき、首都圏の消費者と生産者の交流を促進するとともに、グリーンツーリズムでの県外からの受け入れを推進するなど、生産者と消費者の共感関係の醸成による地産地(他)消の推進を図る。				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
交流の推進と情報発信の充実					継続して実施					
次期食育・地産地消推進計画の推進					策定	計画により実施				
目標	グリーンツーリズム体験者数(年間) ■平成26年度 1,539人			数値目標	2,000人(平成31年度)					
番号	66	取組項目③	経済的な波及効果を意識した事業手法の選択		番号	66	取組項目③	経済的な波及効果を意識した事業手法の選択		○実施スケジュールの変更
現状・課題	より効率的・効果的に施策を実施していくためには、本市の持つ資源や産業構造等を的確に把握する必要がある。				現状・課題	より効率的・効果的に施策を実施していくためには、本市の持つ資源や産業構造等を的確に把握する必要がある。				
実施項目	施策の経済波及効果測定の仕組みづくり		担当課	行財政改革推進室	実施項目	施策の経済波及効果測定の仕組みづくり		担当課	行財政改革推進室	
内容	本市が持つ資源等を分析・検証し、より効果的に活用できる事業手法等を検討する。また、施策分析等の有効性の検証を行うとともに、活用手法の確立による効率的な行財政運営を図る。				内容	本市が持つ資源等を分析・検証し、より効果的に活用できる事業手法等を検討する。また、施策分析等の有効性の検証を行うとともに、活用手法の確立による効率的な行財政運営を図る。				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
経済波及効果分析手法の検討					検討	費用対効果等を踏まえて実施				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
経済波及効果分析手法の検討					検討	費用対効果等を踏まえて実施				

見直し前（当初計画）					見直し後（実施計画 平成29年度改訂に反映）					備考
番号	67	取組項目③	経済的な波及効果を意識した事業手法の選択		番号	67	取組項目①	民間活力等によるサービスの向上・効率化		○数値目標の設定 ○実施スケジュールの変更
現状・課題	平成27年度より県と共同で健康マイレージ事業を実施しているが、市独自の手法も取り入れた、より効果的な仕組みづくりが求められている。				現状・課題	平成27年度より県と共同で健康マイレージ事業を実施しているが、市独自の手法も取り入れた、より効果的な仕組みづくりが求められている。				
実施項目	さかた版マイレージ事業の実施[再掲]		担当課	健康課	実施項目	さかた版マイレージ事業の実施[再掲NO.46]		担当課	健康課 各課	
内容	楽しみながら健康意識の向上や自主的な健康づくりを支援する事業などについて、商店街などの民間事業者と連携を図る。あわせて、より効果的な仕組みづくりを行うことにより、民間事業者の経済活性化も推進する。				内容	楽しみながら健康意識の向上や自主的な健康づくりを支援する事業などについて、商店街などの民間事業者と連携を図る。あわせて、より効果的な仕組みづくりを行うことにより、民間事業者の経済活性化も推進する。				
実施スケジュール					実施スケジュール					
平成28年度					平成28年度					
平成29年度					平成29年度					
平成30年度					平成30年度					
平成31年度					平成31年度					
平成32年度					平成32年度					
さかた健康マイレージ事業の実施					さかた健康マイレージ事業の実施					
さかた版マイレージ事業の実施					さかた版マイレージ事業の実施					
数値目標					数値目標					
項目名					項目名					
単位					単位					
実績(H28)					実績(H28)					
目標(H32)					目標(H32)					
ポイントカードの配布数					ポイントカードの配布数					
45					500					
項目名					項目名					
単位					単位					
実績(H28)					実績(H28)					
目標(H32)					目標(H32)					
応援カードの交換数					応援カードの交換数					
0					200					
実施スケジュール					実施スケジュール					
平成28年度					平成28年度					
平成29年度					平成29年度					
平成30年度					平成30年度					
平成31年度					平成31年度					
平成32年度					平成32年度					
さかた健康マイレージ事業の実施					さかた健康マイレージ事業の実施					
さかた版マイレージ事業の実施					さかた版マイレージ事業の実施					
番号	69	取組項目④	事務事業等の継続的な見直しによる経費の抑制		番号	69	取組項目④	事務事業等の継続的な見直しによる経費の抑制		○実施スケジュールの変更
現状・課題	行政評価について、外部評の実施を含めて、より効果的な手法が求められている。				現状・課題	行政評価について、外部評の実施を含めて、より効果的な手法が求められている。				
実施項目	行政評価手法の見直し		担当課	行財政改革推進室	実施項目	行政評価手法の見直し		担当課	行財政改革推進室	
内容	行政評価の手法について、次期総合計画の策定と連携した効果的な方法を検討する。				内容	行政評価の手法について、次期総合計画の策定と連携した効果的な方法を検討する。				
実施スケジュール					実施スケジュール					
平成28年度					平成28年度					
平成29年度					平成29年度					
平成30年度					平成30年度					
平成31年度					平成31年度					
平成32年度					平成32年度					
外部評価					外部評価					
行政評価手法の見直し					行政評価手法の見直し					
次期総合計画と連動した行政評価					次期総合計画と連動した行政評価					

見直し前（当初計画）					見直し後（実施計画 平成29年度改訂に反映）					備考
番号	73	取組項目⑤	国・県等財源の積極的な活用		番号	73	取組項目⑤	国・県等財源の積極的な活用		○数値目標の設定 ○実施スケジュールの変更
現状・課題	開設から30年を越える都市公園が6割を越え、一様に公園施設が老朽化している。また、バリアフリーに対応していない園路・トイレもあり、こうした施設の更新又は改修を円滑に進めるための財源確保が課題となっている。				現状・課題	開設から30年を越える都市公園が6割を越え、一様に公園施設が老朽化している。また、バリアフリーに対応していない園路・トイレもあり、こうした施設の更新又は改修を円滑に進めるための財源確保が課題となっている。				
実施項目	公園施設の長寿命化及びバリアフリー化の促進		担当課	土木課	実施項目	公園施設の長寿命化及びバリアフリー化の促進		担当課	土木課	
内容	公園施設長寿命化計画に基づいて適切な維持管理を行うことで、老朽施設の更新やバリアフリー化整備に、特財となる国の防災・安全交付金(国費率1/2)の活用を図る。 ・長寿命化計画は平成27年度に策定(第1弾として全公園の半分程度を実施) ・対象公園は2ha以上(遊具及びバリアフリー化は面積要件なし) ・公園施設のバリアフリー化は平成30年度までの時限制度				内容	公園施設長寿命化計画に基づいて適切な維持管理を行うことで、老朽施設の更新やバリアフリー化整備に、特財となる国の防災・安全交付金(国費率1/2)の活用を図る。 ・長寿命化計画は平成27年度に策定(第1弾として全公園の半分程度を実施) ・対象公園は2ha以上(遊具及びバリアフリー化は面積要件なし) ・公園施設のバリアフリー化は平成30年度までの時限制度				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
公園施設の長寿命化					→ 実施					
公園施設のバリアフリー化					→ 実施					
数値目標					項目名	単位	実績(H28)	目標(H32)		
					(長寿命化)社会資本総合整備計画の実施期間(H27~H31)内の整備公園数	公園	—	39		
					項目名	単位	実績(H28)	目標(H32)		
					(バリアフリー)社会資本総合整備計画の実施期間(H27~H31)内の整備公園数	公園	—	2		
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
公園施設の長寿命化					→ 実施					
公園施設のバリアフリー化					→ 実施					
番号	74	取組項目①	未利用資産の適正化		番号	74	取組項目①	未利用資産の適正化		○数値目標の追加 ○実施スケジュールの変更
現状・課題	市が保有する資産のうち利用見込みのないものについては、管理経費削減などの点から処分を進めることが求められている。				現状・課題	市が保有する資産のうち利用見込みのないものについては、管理経費削減などの点から処分を進めることが求められている。				
実施項目	未利用保有資産の売却の推進		担当課	管財課	実施項目	未利用保有資産の売却の推進		担当課	管財課	
内容	売却可能資産の抽出を行い、民間事業者との連携など売却等の処分を進めることにより管理経費の削減と歳入確保を図る。				内容	売却可能資産の抽出を行い、民間事業者との連携など売却等の処分を進めることにより管理経費の削減と歳入確保を図る。				
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
未利用保有資産情報の提供のあり方の検討と充実					→ 実施					
民間業者との協定の締結					→ 実施					
売却の推進					→ 継続して実施					
目標	民間事業者との連携による平成28年度見込額を効果額とする。 単年度効果額=売却額-報償金(平成28年度見込額)		効果額		12,000千円/年					
数値目標					項目名	単位	実績(H28)	目標(H32)		
					未利用保有資産売却額	千円/年	38,000	12,000		
					項目名	単位	実績(H28)	目標(H32)		
					新規売却可能資産のリスト追加	件/年	4	5		
実施スケジュール					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
未利用保有資産情報の提供のあり方の検討と充実					→ 継続して実施					
民間業者との協定の締結					→ 実施					
売却の推進					→ 継続して実施					

見直し前（当初計画）						見直し後（実施計画 平成29年度改訂に反映）						備考				
番号	79	取組項目②	アセットマネジメントによる適切な施設管理			番号	79	取組項目②	アセットマネジメントによる適切な施設管理			○数値目標の設定 ○実施スケジュールの変更				
現状・課題	開設から30年を越える都市公園が6割を越え、一様に公園施設が老朽化している。また、バリアフリーに対応していない園路・トイレもあり、こうした施設の更新又は改修を円滑に進めるための財源確保が課題となっている。					現状・課題	開設から30年を越える都市公園が6割を越え、一様に公園施設が老朽化している。また、バリアフリーに対応していない園路・トイレもあり、こうした施設の更新又は改修を円滑に進めるための財源確保が課題となっている。									
実施項目	公園施設の長寿命化及びバリアフリー化の促進[再掲]			担当課	土木課	実施項目	公園施設の長寿命化及びバリアフリー化の促進[再掲NO.73]			担当課	土木課					
内容	公園施設長寿命化計画に基づいて適切な維持管理を行うことで、老朽施設の更新やバリアフリー化整備に、特財となる国の防災・安全交付金(国費率1/2)の活用を図る。 ・長寿命化計画は平成27年度に策定(第1弾として全公園の半分程度を実施) ・対象公園は2ha以上(遊具及びバリアフリー化は面積要件なし) ・公園施設のバリアフリー化は平成30年度までの時限制度					内容	公園施設長寿命化計画に基づいて適切な維持管理を行うことで、老朽施設の更新やバリアフリー化整備に、特財となる国の防災・安全交付金(国費率1/2)の活用を図る。 ・長寿命化計画は平成27年度に策定(第1弾として全公園の半分程度を実施) ・対象公園は2ha以上(遊具及びバリアフリー化は面積要件なし) ・公園施設のバリアフリー化は平成30年度までの時限制度									
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成31年度	平成32年度		
公園施設の長寿命化		実施					公園施設の長寿命化		実施							
公園施設のバリアフリー化		実施					公園施設のバリアフリー化		実施							
数値目標	項目名		単位	実績(H28)		目標(H32)		数値目標	項目名		単位		実績(H28)		目標(H32)	
	(長寿命化)社会資本総合整備計画の実施期間(H27~H31)内の整備公園数		公園	-		39			(バリアフリー)社会資本総合整備計画の実施期間(H27~H31)内の整備公園数		公園		-		2	
実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	実施スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成31年度	平成32年度		
公園施設の長寿命化		実施					公園施設の長寿命化		実施							
公園施設のバリアフリー化		実施					公園施設のバリアフリー化		実施							